昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病　院　長　岩波　明
〔編集責任者〕広報委員長　常岡　俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第１７８号　［２０２２年６月３０日発］

新年度のご挨拶

医療安全管理室長　准教授　真田　建史

早いもので、令和４年度が始まってすでに３ヶ月あまりが経ちました。今年は２月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生して、病床稼働はしばらく 90%を割り込みましたが、やっと 95%を超えるところまで回復してきました。これもひとえに職員の皆さまのご協力のおかげと心より感謝しております。遅ればせながらではありますが、この場をお借りして、医療安全管理室長の立場から職員の皆さまに新年度のご挨拶をさせていただきます。

今年度も烏山病院は 30 名あまりの皆さまを新たにお迎えしました。ようこそ、烏山病院にお越しいただきました。以前勤務されていた方も、初めて勤務される方もいらっしゃいますが、勤務されての感想はいかがでしょうか。これから当院が皆さまにとって働きやすい、来てよかったと思っていただける職場となることを願ってやみません。

さて、今年度は第１回目の医療安全講習会を５月 17 日から E-learning の形態で開催しました。さらに、第２回目の医療安全講習会を６月 20 日から同様の形態で開催しております。第１回目の講習会では、例年同様に精神科病院で働く心構えを話しました。患者の意思によらない強制的な治療を行うことがあること、さらに患者の特性をいくつか挙げたうえで、患者のリスク評価を３つの視点で見える化して欲しいと伝えました。また、厚生労働省が 2001 年に医療安全に関して 10 の要点を提示していますが、このうち環境整備の重要性として、コンセントに埃がたまることで生じるトラッキング火災について紹介しました。第２回目の講習会では、インシデントアクシデントレポートの重要性について、坂内師長に話していただきました。当院ではここ数年 1300～1500 件/年のレポートが提出されていますが、このうち医師からのレポートの割合は徐々に増加しており、昨年度は全体の 8.2%でした。また、同時に当院における暴力の発生状況とメンタルヘルスについて、前田看護師に実際のケースを提示していただきながら、話していただきました。

医療安全管理室長に就任して、今年で５年目になります。厚生労働省の提示する医療安全の要点は 10 あるとお伝えしましたが、医療安全は多岐にわたります。これまで大きな医療事故が起こらないようにという視点で、啓蒙や改善に努めてきました。その意味ではそれなりの効果は一時的には得られたように思いますが、まだ至らない点が多いのが実情です。さらに、このたびのコロナ禍では当院の抱える問題点を改めて痛感させられたところです。職員の皆さまにはいま一度日々の業務を考えていただき、プロとして責任ある行動をとっていただくよう願います。今年度も皆さまと協働して、来てよかったと思っていただける病院を目指していく所存ですので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

烏山病院メッセージをはじめました

A3 病棟看護師　ASK 認定依存症予防教育アドバイザー　塚越拓美

依存症回復者のメッセージを聞いたことありますか？

メッセージとは「自助グループを通して飲まない生き方を実践しているメンバーが、全国津々浦々の病院や施設でその経験をメッセージとして病院に運び続ける」ことを言います。

私なりの解釈では、依存症に苦しんでいる患者さんに「依存症は回復できる病気です」と勇気づけてくれる会だと思っています。まさに私が初めてメッセージを聞いたときに感じた感想です。

当院の依存症プログラムにも導入されています。

私は機会があれば自助グループに参加させてもらっています。毎週土曜日 21:30 から Young and Sober(ヤングアンドソーバー）という年齢が若い方達が参加しているミーティングがあると聞き、早速参加させてもらいました。分かち合いに感動し、その感動を伝えたくミーティングが終わった後の運営者さんたちの打ち合わせにも図々しく残り続けました。ある一人のメンバーが私の名前を呼んで感想を求めてくださいました。いつも通り感情に身を任せ思いの丈をぶつけました。そうすると「一緒に何かしませんか？」と声をかけてくださったのです。「もちろんやらせてください！」と即答です。それから数か月打ち合わせを重ね、5 月から毎月第 3 金曜 19:30 から 21:00 までオンラインで病院メッセージを開催することになりました。参加対象は当院の特徴も踏まえ、診断名や入院外来通院問わず「生きにくさを抱えた当事者」、ご家族や友人・パートナー・院内外の支援者としました。

第 1 回目は 5 月 20 日に開催され、総勢 97 名の方に参加してもらうことができました。依存症だけではなく統合失調やうつ病など疾患は異なる方も「共通点があるよ」と最後まで聞き入っていました。外来通院の患者さんやご家族にはプライバシー保護から一度、来院して頂くことにしました。夜の開催、来院の手間もあったため人数は予測できませんでしたが、7 名の方が来院してくださいました。オンラインということもあり、全国から 5 名の方がメッセージを届けてくださいました。依存症は身近な病であり、自分なりの回復の道があることなど感じてくれたのではないでしょうか。

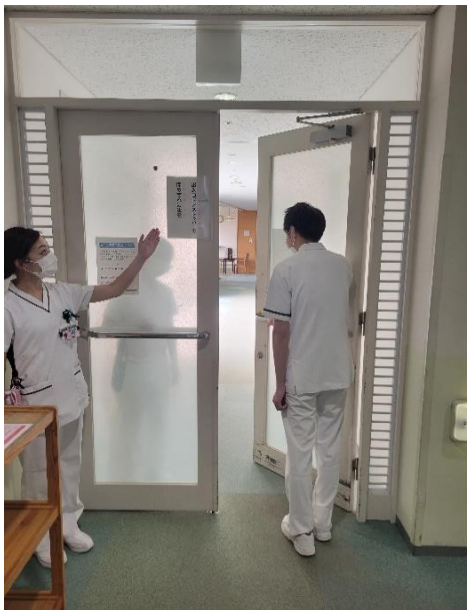
そして、何よりこの病院メッセージは私一人では決して成功しませんでした。病院スタッフに協力頂いております。それも、この有志メンバーは医師、看護師、薬剤師、PSW、作業療法士と 16 名の多職種で構成されています。病棟スタッフへの周知や患者さん・ご家族への宣伝、当日の会場設営などたくさんの役割を担ってくれています。個性豊かで職種の垣根を超えた素晴らしいメンバーです。この場を借りてお礼申し上げます。

毎月第 3 金曜日 19:30～21:00 まで開催していきます。私の拙い文章ではこの感動は伝え切れません。当院に通院している当事者の方やご家族、ご友人などどなたでも当日セミナー室にお越し頂ければ参加できます。一緒に回復者の素敵なメッセージを共有しませんか？

ご興味を持ってくださった方は A3 病棟塚越にお声をかけてください。

C4 病棟の紹介

C4 病棟看護師　大迫　誠



はじめまして。広報委員会 C4 病棟看護師の大迫です。

C4 病棟は昭和大学附属烏山病院の中で唯一の開放病棟です。それ以外の病棟は閉鎖病棟となります。

皆さんは閉鎖病棟と開放病棟の違いはわかりますか？厚生労働省のホームページで入院の処遇についての説明があります。その中で「精神科医療機関では、病棟の出入りが自由にできる構造の開放病棟と出入り口が常時施錠され、病院職員に解錠を依頼しない限り、入院患者が自由に出入りできない構造の閉鎖病棟」と記載されています。

C4 病棟は前者の病棟の出入りが自由にできる開放病棟です。病棟の玄関口は 7 時から 19 時まで出入りができるよう解錠しています。任意入院患者が 9 割以上を占め、自宅・施設退院を目指す治療過程の中で、環境適応できるよう外出泊訓練のため、医師から病棟の出入りが許可されます。また、社会とつながりを保ち、病状コントロールが図れるよう外部の治療プログラムやデイケア参加及び仕事、学校に通う方たちも同じく医師の判断により病棟の出入りが許可されます。つまり、ある程度の方は病状が安定した治療段階で病院の外とつながりを持つ機会が多くなります。一般的に閉鎖病棟より開放病棟の方が環境面の一部側面だけ見ると自由な印象に強く惹かれるのではないでしょうか。しかし、開放病棟の患者さんは社会復帰に向け、対人関係や新たな環境、依存によるストレスを抱える機会が多くあります。そのため、病状悪化により、生命を守る治療環境が必要となり、閉鎖病棟に移る方たちも少なくありません。

このような C4 病棟の環境の中、私たち看護スタッフは精神科看護師以外にも幅広く豊かな経験を持ち合わせており、個別性に応じ、患者主体で安心・安全に治療参加でき、満足できるチーム医療を目指しています。また、コロナ渦により、感染防止の観点から、C4 開放病棟の自由な出入りができず、管理的な側面から窮屈となり、ご迷惑をおかけすることもあります。しかし、患者の安全だけを優先に考える故に、入院生活が堅苦しくならないよう工夫した創造性のある治療環境をスタッフ一同提供していきたいと思います。

デイケア活動　SST　　O.A さん

今回は、SST について紹介したいと思います。

そもそも SST とは(Social Skills Training)の頭文字から取られています。

このプログラムは毎週水曜日、12:30~13:20 に就職に向けた様々な場面(家庭、デイケア、職場など)を設定し、コミュニケーションの練習をしています。なお、このプログラムはクローズグループのため、登録制になっています。

内容としては、面接の練習や、支援者とのコミュニケーションの取り方などです。そのようなメンバーの課題や困りごとをもとに、アイデアを募り、実際にロールプレイを行っています。

ロールプレイをするプログラムなので内容はかなり実践的なものが多いです。社会を経験している方が多く、その視点での発言が多いため、自分はまだ社会を知らないので、このプログラムを通して社会での立ち回りを学び、来たる就活・就職・就労に備えています。

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・８時３０分～１７時
　　土　曜　日　　８時３０分～１３時
電話：月曜日～金曜日０３－３３００－５３２９
　　土　曜　日　　０３－３３００－５２３１
◎初診受付：月曜日～土曜日・８時３０分～１１時
◎休診日　：日祭日・本学創立記念日・年末年始

≪5 月 ≫	入 院(前 月)	外 来(前 月)
◆延 患 者 数	8,381(7,950)	5,662(5,781)
◇一日平均患者数	270.4(265.0)	246.2(231.2)
◆診 療 実 日 数	31(30)	23(25)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

【 編 集 後 記 】

今年は春先から初夏にかけて、寒暖の差が大きかった気がしますが、皆様体調はいかがですか？

今年ももう６月になり、年の半分は終わって行きます。

そろそろ紫陽花が大きな花をつけて満開になり、夏がやってきます。上手に食養生や体を動かす事を生活に取り入れて、季節の変化に対応したいですね。

雨にも負けず、皆様もまた１ヵ月お健やかに。

(広報委員　熊谷)